



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'96 8月号



第1回夏休み自由研究相談会開催

<次回は、8月21日(水)に開催>

■うっとうしい梅雨も明け、キラキラ照りつける太陽と共に今年も待ちに待った夏休みがやってきました。

■博物館では、夏休みの小・中学生の宿題のお手伝いをと、先月の25日(木)に第1回夏休み自由研究相談会を開催しました。

■この行事は、開館の翌年から始まり今年で20回目を迎えた長寿の行事の一つです。毎年7月の後半と8月の後半の2回開催しています。昨年までに延べ922名の小中学生が、相談にやってきました。

■第1回目の今回は、自由研究のテーマの設定や研究の進め方などの相談に学芸員が対応しました。

■相談にやってきた小中学生の中には、既に自由研究のテーマも決まり、どこで、何を参考に、どう研究を進めたらいいのか熱心に相談している子、集めた石や昆虫の同定をしてもらおう子、まだテーマも決まらず、何をやったらよいか相談してい

る子もいましたが、それぞれの子どもたちに学芸員も親身になって相談に応じました。

■尚、今月の21日(水)には、自由研究のまとめ方等を中心とした、2回目の自由研究相談会を博物館1階科学教室で、9時~12時まで、開きます。

■教科は社会科・理科の自由研究が中心になります。対応する学芸員の専門ジャンルは、社会科では、考古学(縄文時代~平安時代)・歴史(鎌倉時代~現代)・民俗学(人々の暮らしや昔の道具、人々の信仰や神社仏閣、石仏など)の3部門です。

■理科関係では、生物(動物・植物・昆虫など)・地質(岩石・化石・地震など地学関係全般)・天文(星・月・太陽などに関する天文関係)の3部門です。

■くれぐれも、苦しい時の神頼みにならないようにそれまでに、きちんと宿題が終わるように計画をたてて、自由研究を進めておきましょう。

特別展「動く大地を読む－流域の1億年と平塚の地盤」の紹介

●丹沢の生い立ちのはなし

☆みゆきさん。プレートテクトニクスって知っていますよね。



★地球の表面が何枚もの岩盤（プレート）に分かれて少しずつ動いて、沈み込む所で地震を起こすというものですよね。

☆そうです。平塚の位置する南関東では、南から動いてくるフィリピン海プレートが相模湾で沈み込んでいて、その下に東から動いてくる太平洋プレートがさらに沈み込んでいるんです。

★複雑なんですね。だから地震が多いんですか？

☆そう。大正の関東大地震や、将来起こると予想されている、県西部地震や南関東地震もこうしたプレートの境界にひずみがたまって起こるんです。ここでは、こうしたプレートの運動により、丹沢山地がどのように変動してできてきたか、お話ししましょう。

★やさしく教えてください。

☆丹沢は南の海で生まれて、プレートに乗って運ばれて現在の位置に来たと考えられています。

★信じられませんか。それではひょっこり瓢箪（ひょうたん）島じゃないですか。

☆そうなんです。瓢箪島を動かしていた原動力はプレート運動と言うわけです。丹沢は1800万年ほど前に九州近くの海で海底火山として生まれ、フィリピン海プレートに乗って北西へ移動してきたと言われます。

★丹沢が南にあった証拠は何かあるんですか？

☆丹沢では熱帯の珊瑚礁をつくっていたサンゴ化石がたくさん見つかっています。それは小笠原のサンゴより沖縄のサンゴに近いのだそうです。また熱帯に生息するオウムガイ（アンモナイトの仲間と言った方が分かるかな）もたくさん見

詳しく知りたい人は、
特別展図録を読んでね
（受付にて1000円で
販売中）



つかっています。

★丹沢が海底火山だったということは、どんなことからわかるんですか？

☆丹沢には陸から運ばれた砂や泥が全くなく、厚い火山灰が堆積してできた岩石が大部分で、海底に噴出した溶岩流も見つかっています。

★そのころの日本はどんなだったのかしら。

☆当時日本海はまだなく、日本列島は大陸にくっついていました。

★それでは日本海はいつできたのかしら。

☆1700～1400万年前にかけて、東北日本と西南日本が観音開きを開いて日本海ができ、現在の日本列島に近い形になったといわれているんです。

★そのあと、丹沢はどうなったんでしょう？

☆1000万年前頃には、三宅島付近までできていたようです。この頃西丹沢ではマグマの貫入があり、500万年という長い時間をかけて冷えていったといわれています。西丹沢の中川温泉付近でよくみられる、石英閃緑岩と呼ばれる白い岩肌の岩石がそれです。

★石にもいろいろ歴史があるんですね。

☆そして、600万年前頃になると、本州に近づきました。まだ丹沢と本州との間には深さ2000mの細長い海があり、陸から運ばれた泥が静かに堆積しました。500万年前になって、丹沢は本州と衝突しました。

★衝突したことはどこから分かるんでしょう？

☆丹沢と本州側との間に大きな断層があり、衝突した境になっています。衝突してから丹沢や本州側が隆起し、大量の砂利が運ばれて堆積しました。現在建設中の宮ヶ瀬ダムの周辺には、この時期の地層がよくみられます。宮ヶ瀬や大磯にはこの時期の貝の化石も知られています。そしてこの丹沢の衝突により相模川は生まれたんです。現在も相模川はこの衝突した境界に沿って流れているんです。

★相模川って丹沢の生い立ちに深いつながりがあるって、500万年も前に生まれたんですね。

（次号へ続く）

考古学入門講座を終えて

■入門講座開催について

近年の考古学の成果にはめざましいものがあり、新聞・テレビ等で大きく取り上げられ、市民の関心が高まっているのが現状かと思えます。

平塚市の原始・古代史の状況は博物館が開館した昭和51年当時とは、大きく異なってきています。

今回の企画は、様々な情報が発信されている中で、各時代の基礎的な知識を学ぶことによって、大きな歴史の変化を読みとることに主眼を置きました。地域の歴史を地域の住民が探る手だての、第一歩としての考古学入門講座です。

■講座の日程・講師・内容

6月1日(土)	上原正人氏	縄文時代
6月15日(土)	菅沼圭介氏	弥生時代
6月29日(土)	栗山雄揮氏	古墳時代
7月6日(土)	明石 新	奈良・平安時代

■講義内容の基本方針

開催にあたり、各講師の方々に事前の講義内容と当日の資料内容の打ち合わせを行った。

内容については

- ①担当する時代の前の時代を補足説明する
- ②時代の説明
- ③土器の話
- ④集落の話
- ⑤暮らしの話
- ⑥墓や祭祀の話
- ⑦次の時代への解説

以上の内容を盛り込んだ形で展開して頂くが、順番は各講師に一任した。

資料はA4版で、図・絵は多く使用するが、スライドは使用しない。

■参加者の動向と参加人数

今回の講座は定員50名として公募したが、予想外の反響があり100名の方々の申込がありました。できるだけ多くの方々に聞いて頂きたいと考え、応募者全員を受け入れました。

最年少は12才、最年長は87才で、50代から60代の年齢層が全体の7割を占めています。男女の比率は男性48%、女性52%でした。週休2日制の普及と高齢化社会を反映しているのかも知れません。

4回の連続講座の受講者は317人に達し、全出席者は52名いました。

6月1日(土)	87人
6月15日(土)	79人
6月29日(土)	76人
7月6日(土)	75人
計317人	

■参加者の声

- 実地見学も次回考えてください。
- 楽しく勉強させていただきました。未知の世界でありました考古学が少し近くなったようです。
- 僕にとって分からないことがたくさんあり、考古学は大変だと思った。だけど、今回これで良かったと思った。
- 「広報ひらつか」などに考古学の欄をつくり、市民に読んで頂いたら如何でしょうか。小中学生向けの講座も開いたら如何でしょうか。
- それぞれの講師の先生方の熱の入った講義に魅せられて、4回を楽しく勉強できました。
- 次回は平塚市を中心とした遺跡または発掘品から、縄文、弥生、古墳、奈良・平安の時代をお願い申し上げます。
- 考古学のロマンに酔っているおばさんです。平塚または周辺の考古学を知りたかったです。
- この講座を受講するまで平塚にこれほどの遺跡が存在することすら知りませんでした。機会を見て訪ねてみたいと思っています。
- 古希を迎えて、始めて「古い事」を考える時間がもてて感謝致します。
- テーマ、地域をしぼった講座を。考古学の成果は積極的に私達の方に向けてほしい。

■講座を終えて

初めての考古学入門講座のため、不安と戸惑いの中で実施しました。予想に反しての参加者。あらためて、「地域の歴史を知りたい」という市民の声を認識いたしました。参加者の声のとおり様々な要望や意見がありました。少しでも次回に生かしていきたいと思えます。「継続は力なり」を信じ、地域に根ざした講座を展開していきたいと思えます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

9月の行事予定

1	日	地質調査会(野外)
7	土	こども観察会「クツワムシの声を聞こう」 (秦野市弘法山) 地質調査会(館内) ○講演会「木谷道場を語る」(中央公民館)
8	日	民俗探訪会「八王子道を歩くI」 (八幡～四之宮)
12	木	石仏を調べる会(本宿)
14	土	◎漂着物を拾う会 古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会
18	水	地質調査会(館内)
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
26	木	石仏を調べる会(本宿)
28	土	古文書講読会
29	日	○みんなで調べよう「ひっつき虫調べ」(館内) 相模川の生き立ちを探る会 「海辺の石の由来」(二宮～国府津海岸) 古代遺跡を探す会

10月の行事予定

1	火	◎秋期特別展「木谷実展」(至:11月29日)
5	土	地質調査会
6	日	民俗探訪会(田村～大神)
10	祝	○特別展記念公開対局会(中央公民館)
11	金	◎星を見る会「木・土星を見よう」
12	土	◎漂着物を拾う会(平塚海岸) 平塚の空襲と戦災を記録する会 古文書講読会 天体観察会「秋の星空と外惑星」(大磯)
13	日	○自然観察会「秋の河原を訪ねて」 相模川の生き立ちを探る会(山北町平沢)
16	水	裏打ちの会 地質調査会(館内)
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
20	日	古代遺跡を探す会
24	木	石仏を調べる会
26	土	○体験学習「藁草履を作ろう」 古文書講読会
27	日	地質調査会(野外)
31	木	閉館

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

☆イブニングミュージアムのお知らせ☆
特別展期間中の金曜日は午後7時まで開館します。

●特別展

「動く大地を読むー流域の1億年と平塚の地盤ー」
・会期:9月15日(日)まで
「木谷実展」
・会期:10月1日(火)～11月29日(金)
☆特別展記念公開対局会
・日時:10月10日(祝)14:00～
・会場:中央公民館ホール
・申込:はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「対局会」係へ
・定員:先着700名

●寄貝館品コーナー

「相模川の生き立ちを探る会の活動」
・会期:9月15日(日)まで
「実習生の展示」
・会期:9月20日(日)～10月30日(水)

●プラネタリウム一般投影

「流れ星の降る夜～しし座流星群編～」
・期間:9月7日(土)～11月10日(日)
・投影日:土・日曜日
・時間:①11:00 ②14:00 ・観覧料:100円

募集行事

●みんなで調べよう「ひっつき虫調べ」

環境庁の身近な生きもの調査に参加して、服につく草の実について調べます。参加者には調査の手引きを配付し、それぞれの分担地域で調べていただきます。予備知識は必要ありません。

・日時:9月29日(日)10:00～12:00 ガイダンス
11月2日(土)14:00～16:00 まとめ
・場所:博物館
・〆切:9月20日(金)
*小学4年生以下は保護者同伴でお願いします。

●自然観察会「秋の河原を訪ねて」

河原の植物やバクテリア類の観察をします。
・日時:10月13日(日)13:30～16:30
・場所:平塚市田村付近の相模川
・〆切:10月5日(土)

*申込:往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「○○○係」へ

漂着物を拾う会

海岸に打ち上げられた動植物や人工物を拾い調べます
・日時:9月14日(土)9時30分～11時
・場所:平塚海岸
・集合:花水川橋平塚側たもと記念碑前
・参加:自由

あなたと博物館 21巻 6号 通巻235号 ©3000 発行 平塚市博物館
〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949